



おぎ だより

平成30年7月号

杉並区立井荻小学校

平成30年6月29日発行 No.600

算数の学習

主幹教諭 小室 純子

今年度、少人数算数の担当になり、算数の学習内容を学年ごと縦に見る機会を得ました。例えば、3年生で「わり算」が初めて登場しますが、4年生では「わり算のひっ算」、5年生では「小数のわり算」、6年生では「分数のわり算」と学年ごとに同じわり算でも内容が変わってきます。前の学年で習得したことを基にして理解が進んでいくことになるため、前の学年の学習内容とのつながりがよく見えてきます。しかも、「わり算」には、低学年で身に付けてきた繰り下がりのあるひき算とかけ算の力も必要になってきます。もっと言うと、1年生の初めに行ったブロックを使った数の合成の学習が先の学習の理解と深く関係しています。「10は2と8」「10が10集まると100になる」など、10のかたまりを意識した数の捉え方が小数にも分数にもつながり、数のイメージがつきやすくなります。

小学校の算数では、なるべく問題に必然性のあった方が問題を捉えやすいということもあり、身近なものを取り上げています。ですから、生活経験が理解の深まりに大きくかかわることがあります。たとえば10のまとまりが意識しにくい子供には、「お金」を例に挙げて伝える場合があります。「10円が10枚で100円になる」は理解がしやすいのです。ところが、最近、この「お金」を例に挙げてピンとこない子供がいます。環境の変化に伴い、現金で買い物をしなくても済んだり、物騒な事件が報道されている中、買い物に出すのが心配だったりということがあるのかもしれませんが、また、「わり算」の学

習中にも、少ないものをいかに均等に分けるかという経験の少なさを感じる場合があります。一つしかないお菓子を兄弟で均等に分けないと大変なことになるというところからの「わり算」がイメージしやすいと思っているのですが、今の子供たちは均等に分けなくても、それほど困ることはないようです。生活経験の多様化を意識しながら学習を進めていく必要を感じています。

生活経験の話はさておき、子供たちが学習している算数は、各学年の積み重ねの上に立って次の課題の解決の糸口を見つけていく教科です。ですから、その学年ごとに習得すべき事柄はしっかりと身に付けさせていくことが子供たちのためです。そのために授業以外の場でも宿題で繰り返し取り組ませたり、個別に声を掛けたりしています。苦手意識のある子供にとっては、逃げたくなることもかもしれませんが、子供たちが先に進んだときに困らないように、できることなら学習したことを使って自分自身で答えを導き出す喜びを感じられるようにと思って日々取り組んでいます。

先日、授業が終わった後、「この問題が分からない。」とプリントを手にして入ってきた子がいます。見ると、先週終わった単元の問題でした。一緒に問題を解いていくと「わかった！」と言ってうれしそうに帰っていきました。わからないことを克服した清々しい顔。そういう姿に出会えるのは、私たち教員にとって最高の瞬間です。

7月行事予定

1	日	
2	月	B時程（4年2組研究授業） お話会①
3	火	荻中生による読み聞かせ SC
4	水	
5	木	都学力調査（5年）口腔保健指導（3年）
6	金	保護者会（1、2、3年）心の劇場（6年）
7	土	いおぎまつり（学校公開）
8	日	
9	月	クラブ
10	火	安全指導 保護者会（4、5、6年） SC 小児生活習慣病予防検診説明会（4年保護者） お話会②
11	水	荻中授業体験（6年）
12	木	社会科見学（3年）
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	海の日
17	火	避難訓練（不審者対応） SC ★
18	水	
19	木	給食終了
20	金	終業式・大掃除
21	土	夏期休業日始 いおぎ夏まつり 遅野井親水公園オープニングセレモニー
22	日	
23	月	夏季水泳指導・個人面談・パワーアップ教室始
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	夏季パワーアップ教室終
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

給食費引き落とし日・・・★
スクールカウンセラー来校日・・・SC

7月の生活目標

整理整頓と掃除で

心もピカピカにしよう

生活指導部 長島 瑞樹

子供たちが帰った後、教室を見回してみるとゴミが散らばっている日がよくあります。ゴミが落ちたままだと、とても悲しい気持ちになります。

心理学では部屋の状態が今の自分の心の状態を表すと言われています。学校は集団生活する場所なので、教室は学級集団の心を表すと考えましょう。教室や廊下がピカピカだと、とてもやる気が出ます。また、机の上や机の中が整理整頓されていると、落ち着いて授業に取り組むことができます。生活目標にある「心もピカピカにしよう」とは、整理整頓、掃除をすることで自分の心が落ち着いて過ごせること、また、きれいになった教室や机の中を見て、気持ちがすっきりするという意味だと考えます。

進んで床に落ちているごみを拾ったり、丁寧な姿勢で掃除をしたりする児童をよく見ます。整理整頓のために、種類ごとに分けてクリアファイルを使用する児童もいます。自分で工夫して学校生活を送る井荻小学校の児童は素晴らしいと思います。全員が整理整頓、掃除の素晴らしさを知り、心も学校もピカピカで夏休みを迎えたいですね。

7月1日（日）より、「教員の働き方改革」の推進に伴い、杉並区内全小中学校では、午後6時30分より翌日午前7時30分までの留守番電話の運用が始まります。ご理解とご協力をお願いします。

